

令和元年度第3回北区地域公共交通検討会議 書面協議結果

意見者	要旨	回答/見解
<p>はまなす「地域交通」研究会事務局長</p>	<p>木崎地区の移動需要について、現在同地区にはおらつてのバスが1日計3便乗り入れているが、同地区の住民ニーズを満たし切れていない。</p> <p>同バスは陽光・松浜・濁川地区で運営・運行するバスのため、木崎地区全てのニーズには応じられないのが現状である。</p> <p>木崎地区住民が主体となって新たに住民バス団体を立ち上げ、まずは社会実験から始めてみてはどうか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>第6章基本方針③ア(19頁)において「住民バス団体の立ち上げ支援」を具体的な取り組み施策とした。</p> <p>今後、区内の幅広い地域に呼び掛けて勉強会の開催等を検討し、住民バス制度を知ってもらう機会を設けたいと考えている。はまなす「地域交通」研究会には、先進団体としてぜひご助言いただきたい。</p>
<p>都市政策部 都市交通政策課長</p>	<p>第3章基本方針①ア・イ(10頁)の「詳細」と「評価及び今後の課題」欄について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度は北区・区バス社会実験を実施しないことになった点。 ・デマンド交通は本制度設計が確立していないことから、R2年度も社会実験として実施することになった点。 <p>これら現時点の取り組み状況を踏まえて、必要箇所の表記を時点修正してほしい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>該当箇所の表記を以下のとおり時点修正する。</p> <p>①ア「詳細」欄</p> <p><u>旧</u>: 次年度の実施は未定</p> <p><u>新</u>: (削除)</p> <p>①ア「評価及び今後の課題」欄</p> <p><u>旧</u>: ~R1年度で終了し、R2年度より本格運行する予定である。</p> <p><u>新</u>: <u>~地域に合った運営方法や運行計画を模索するとともに、新潟市としての制度設計を構築し、本格運行化する必要がある。</u></p> <p>②イ「評価及び今後の課題」欄</p> <p><u>旧</u>: R2年度以降に予定されている本格運行開始後も、~</p> <p><u>新</u>: <u>R2年度以降も、~</u></p> <p style="text-align: right;">以上</p>